

翁猿楽のルーツと伝搬考

林 和利
保田 紹雲

本地垂迹の能への視点

葛城・巻絹

西瀬 英紀

女能における叙情の表現

道成寺伝説から能《鐘巻》、能《道成寺》への変貌を手がかりに

安田 徳子

能「咸陽宮」が世阿弥の作である可能性について

一、作者未詳とされる能「咸陽宮」
二、世阿弥は唐事の能を作らなかったのか
三、「棟梁の為手」と「脇の為手」
四、筋書きと序破急五段構成
五、応永年間の能作者事情

三苫 佳子

豊橋市中央図書館橋良文庫の能楽関係書状(三)

佐々木寿六書状

佐藤 和道

《佛原》試解

間狂言語り構造の比較

飯塚 恵理人

狂言もどき論序説

一、はじめに
二、主題の転換——「佛原」は江戸時代以前からの現行曲——
三、比較した間狂言本と「得平本」《佛原》の語り部分の翻刻
四、各間狂言本の語り部分の比較

林 和利

狂言古図の諸本

整理と考察

藤岡 道子

豊橋魚町の町衆が演じた狂言の特徴

安海熊野社蔵 牧野新作台本をもとに

米田 真理

執筆者紹介

- 一、はじめに
- 二、明治一〇年代の魚町と狂言
- 三、牧野新作の狂言台本
- 四、「波形本」とは異なる台本について
- 五、町衆の狂言のすがた

